

新日鉱ホールディングス 2006

DRAFT

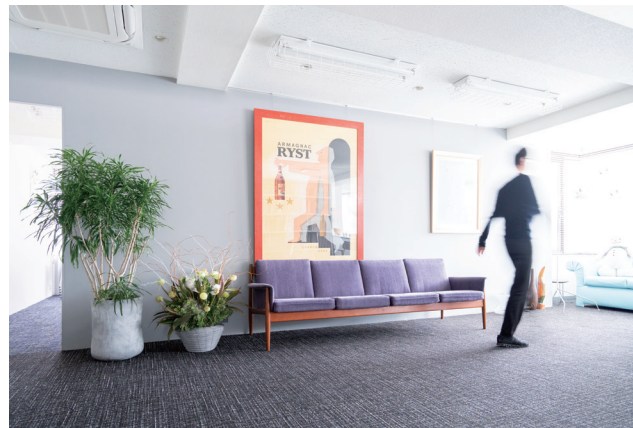
Copyright © 1972 DRAFT Corporation. All Rights Reserved.

DRAFT

会 社 名	株式会社ドラフト	業 務 内 容	ブランドの開発及び育成 CI、VI の企画、制作 広告宣伝、販売促進の企画、制作 自社プロダクトブランド D-BROS の企画、制作、および販売 ウェブデザインの開発および制作
設 立	1978 年 8 月 1 日	著 書	仕事の流儀（2016 年 12 月） 出版社：日経 BP
資 本 金	20,000,000 円		デザインするな（2009 年 3 月） 出版社：DNP アートコミュニケーションズ
代 表	宮田 識		世界のグラフィックデザインシリーズ 60 「ドラフト」（2003 年 5 月） 出版社：ギンザグラフィックギャラリー
所 在 地	〒162-0814 東京都新宿区新小川町 3-10 SE ビル3F		
ドラフト 連 絡 先	TEL：03-6280-8928（代表） FAX：03-6280-8915		
D-BROS 連 絡 先	TEL：03-6280-8929 FAX：03-6280-8903		
E - m a i l	contact@draft.jp		
H P	https://draft.jp http://d-bros.jp		

DRAFT

新社屋内観



Copyright © 1972 DRAFT Corporation. All Rights Reserved.

Made in Japanの資源。



Made in Japanの資源。





私たちの商品は地球資源です。

私たちは資源開発から精製、販売まで、石油のほとんすべてを一貫して事業展開し、ガソリン、灯油、軽油、LPガス、潤滑油、石油化学製品など数多くの石油関連製品も提供しています。数メートルの地下深くから石油資源を掘削に見つけ出すことは、簡単ではありません。だからこそ私たちは、一度掘り上げた原油や天然ガスを決して無駄にすることなく、力を入れた環境の小さな節減でも、何でも活用をフルに駆使して、最終までどこまで高効率に稼働しているのです。

また、精製の工程で残った重質アスファルトや重質、高レベルの技術で加圧分解してガソリンや灯油・軽油の原料を確保しています。地味な重質資源だからこそ、創意を働かせて、大切に資源利用します。それが私たちのやり方であり、誇りでもあります。私たちの技術は、そのためにあります。



石油も、銅も。
新日鉱ホールディングス



JOMO / ジャパンエナジー



日鉱金属



私たちの商品は地球資源です。

地球の裏側にあるチリは銅の宝庫です。日本の銅鉱山の半分以上がチリから来ます。世界のロス・ペラッシュ鉱山は、標高3,000mの高地に位置する。埋蔵量およそ400万トン(銅量)の大鉱山。私たちはこの鉱山開発の10%を確保しています。さらに世界最大の露天銅鉱山であるエスカンダー鉱山や、コロンビア鉱山などの優良鉱山にも開発権限から積極的に参加しています。

いま世界中で、銅の需要が急激に伸びています。資源小国日本にとっては、これまで以上に銅資源の長期的・安定的確保が重要になってきました。従って私たちは日本の銅の約4割を確保しています。さらに海外での開発を積極的に展開し、資源と技術の活用を見えてきたと見えています。それが日本の銅のトップメーカーとしての使命です。



石油も、銅も。
新日鉱ホールディングス



JOMO / ジャパンエナジー



日鉱金属



資源はもっと元気になります。

「石油は燃やせば」と、とくに伝えられがちな石油製品ですが、
 少しおとなしい顔を持つ埋蔵資源として御座います。たとえばそのひとつが
 ビル空調などに使われる新しい蓄熱材料「エクスジェム」。灯油成分から取り出される
 ノルマルパラフィン。一定温度領域で熱や冷気を貯めたり放出したりするという性質を
 利用し、開発された新製品でも、深夜電力で冷気を蓄え、日中にその冷気を放出します。
 空気のヒートポンプ能力を減らすCO₂削減に貢献する注目の素材です。
 一方で、廃棄プラスチックをリサイクルして石油に還元プロジェクトも積極的に
 動き始めました。次世代カーボンエネルギーとして期待される燃料電池や、その原料となる
 水素の供給システムへの取り組みも着々と、これからの持続可能な社会の実現に向けて、
 私たちは次世代埋蔵資源としての石油の新たな貢献活用を最前線から取り組んでいます。



石油も、銅も。
 新日鉱ホールディングス



JOMO / ジャパンエナジー



新日鉱金属



資源はもっと元気になります。

今あなたが手にしている携帯電話には、銅が積極的に使われています。
 パソコンから、液晶テレビまで、自動車も、道路に導電帯がはく、最先端分野でも欠かせぬ素材の、
 この銅という金属がもたらした、今日のIT時代はやって来なかったでしょう。
 鉱山開発には、通常5〜10年の歳月がかかります。必要だからといって、鉱山を開拓するまでに
 増やすことはできません。私たちは未来の銅の確保に、銅のプロジェクトの段階から参加しています。
 需要の拡大に伴って、銅の確保もそのひとつ。そのための銅の埋蔵量や、銅の生産能力を確保するため、
 新たな開発に取り組んでいます。さらに、銅の埋蔵量を確保するために、銅の埋蔵量を確保するため、
 使われなかった銅の品位を高く保ち、銅の埋蔵量を確保するために、銅の埋蔵量を確保するために、
 銅の中心として資源開発から銅、IT、環境、資源のサイクルまでを一貫して行っています。
 これからは銅の発見と生産とが、銅の資源です。



石油も、銅も。
 新日鉱ホールディングス



JOMO / ジャパンエナジー



新日鉱金属